

なごやの学童保育

市連協ニュース No2

2021年度・6月1日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL(052)-872-1972
 FAX(052)-308-3324
 E-Mail:info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

「従うべき基準」復活求める

県連協が定期総会

愛知学童連絡協議会（県連協）は5月23日（日）に第52回の定期総会をオンライン形式で開きました。施設の木装化など、愛知県の学童保育施策の充実を目指す2021年度活動方針案や新役員などを満場一致で承認しました。

基調提案では賀屋哲夫事務局長（専従）が、学童保育の利用希望が増える状況を報告。その上で①小学校の教室利用、②施設の面積が不十分、③大規模化、④しょうがい児受け入れが不十分—など、各自治体の多くの課題を指摘しました。さらに指導員の人件費が抑制される企業運営の放課後施設が増える現状を懸念し、「子どもの最善の利益をどう保障するかが課題」と訴えました。

2020年度総括では、渡邊久直副会長（津島市選出）が、①県や自治体にコロナ禍での学童保育支援を要請した、②県独自予算の増額を要望（結果はかなわず）、③学童保育運営基準を「従うべき基準」に戻す条例改正を各自治体に求めた—などの活動を報告しました。

2021年度方針案では奥野和幸副会長（役員推薦）が、①施設の木装化に加え、②運営基準を「従うべき基準」に戻し、そのための財政支援をするよう国に求める、③コロナ禍対策の支援を求める、④営利企業の学童保育への参入に反対する、⑤（空き教室の利用を基本とする）「新・放課後子ども総合プラン」や「子どもの居場所確保」事業が学童保育の代替事業して定着しないよう要望する—などを提案しました。

新会長には、2020年度に続き江坂佳代子さんが選ばれました。

みんなの「声」を届けよう

国・自治体への働きかけを

名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）は、学童保育の施策充実に向けて、二つの行動を学童保育関係者に呼びかけます。いずれも市連協が加盟する全国学童保育連絡協議会（全国連協）の取り組みです。対応をお願いします。

1) 「一人ひとりの声を国や自治体に届けよう」

パソコンやスマートフォンからの意見を集約・管理できるソフトウェア「Google フォーム」を使用して、みなさんの「声」を国や地方自治体に届けます。期間は2021年度、2022年度の2年間です。



内容は、「施設が狭い」、「遊び場がない」、「指導員が確保できない」、「助成金を増やして」などなんでも構いません。

上記QRコードか下記URLでログインできます。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScz2t85wmyCC hLzMSPV2MvAoJKoSZinGwS38QtTsgnSqW45g/viewform>

2) 学童保育の拡充を求める請願書請願署名

（請願内容）

1. 第198国会で採択された「学童保育（放課後児童健全育成事業）を拡充し、子育て支援の充実を求める請願」を国の責任で具体化してください。

2. 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、さらには新興感染症にも対応していくためにも、「指導員の資格」、「配置基準」、「広さ」、「子ども集団の人数規模」を早急に改善してください。

上記の趣旨をふまえて、「第9次地方分権一括法」の附則による「施行後3年」の見直しの際には、学童保育の基準を拡充してください。

代筆可です。9月7日（火）の区連協代表者会議で回収します。対応をお願いします。